



“Program Update”

MRJ 初飛行に向けて説明会を開催



今月 2 日、三菱航空機本社にメディアの方々にお越しいただき、10 月後半の初飛行に向けての説明会を開催しました。当日は森本社長並びに岸副社長から開発の進捗状況とともに安全な飛行試験実施に向けての取り組みや体制等について説明しました。

飛行試験実施に当たっては機体の安全性は勿論のこと、運航体制においても十分な安全性が確保されていることを確認し、関係各機関とも連携して参ります。

具体的審査手順に関しては、社内審査会における安全性確認の後に国土交通省による飛行前審査会を受審、飛行許可を取得して初飛行を行います。

MRJ パートナーイベントを開催

今月 8 日からの日程で日・米・欧それぞれの地域で Joint Schedule Workshop(JSW)を開催しました。MRJ の開発に当たっては、各関連パートナーと一体となったチーム活動が重要であり、この JSW をとおして定期的にパートナーと開発進捗・課題を共有し、全体状況を理解した上でのベクトル合わせを行っています。

今回は初飛行に向けての進捗確認、スムーズな飛行試験に向けた準備状況の確認を中心に活発な協議・意見交換を実施し MRJ 開発チームとして丸となって前進するうえで大変有意義な会議となりました。



JSW の様子(米国シカゴ)

飛行試験機初号機

初飛行に向けデータ確認、機体点検等実施中!



“Hot Topic”

MRJ へのメッセージ —全日本空輸株式会社—

MRJ のローンチカスタマーである全日本空輸株式会社(ANA)の名古屋技術駐在として三菱航空機本社に常駐し、日々私たちの様々な相談に乗っていただいている小林様より初飛行、初号機納入に向けてのメッセージをいただきましたのでご紹介させていただきます。

10 月後半、いよいよ MRJ の初飛行が予定されています。国産旅客機の初飛行としては、YS-11 以来 53 年振りとなり、世界中の人々が待ち望んでいる時がやってきます。

ANA は 2008 年にローンチカスタマーとなって以来、コラボレーションパートナーとして MRJ がより快適に、またエアラインにとって運航・整備のし易い魅力的な機体となるよう数百点に及ぶ要望をして来ましたが、それらがかたちとなって空を飛ぶ瞬間でもあります。

初飛行後、2017 年に初号機を受領予定ですが、将来 MRJ が ANA の経営ビジョン(お客様満足と価値創造で世界のリーディングエアライングループとなること)を実現するために、必要不可欠なフリートとなることを願っております。



全日本空輸株式会社
整備センター 名古屋技術駐在
部長 小林 宏至 様